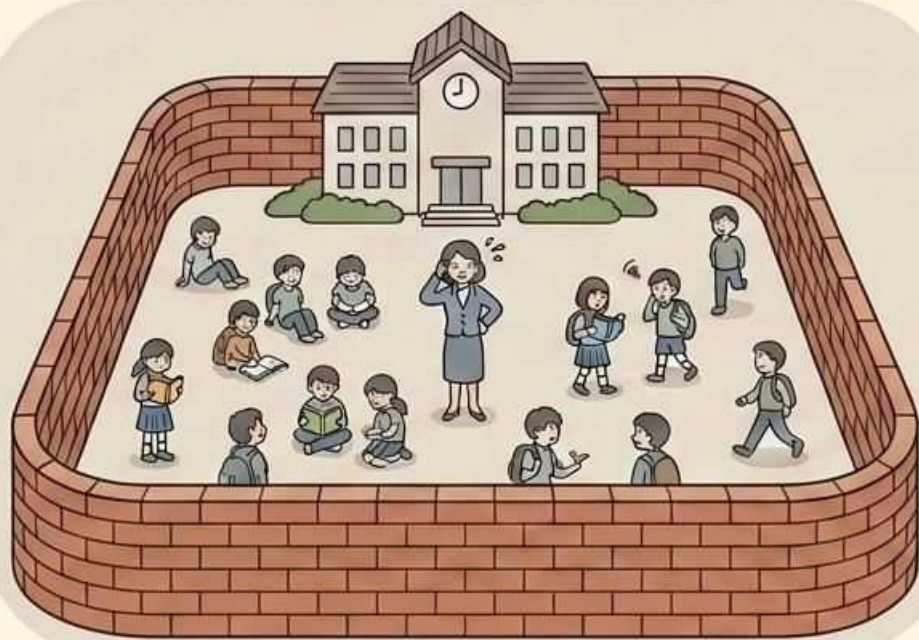


Design Learning Together ～共に学びをデザインする～

菊川市のコミュニティ・スクール



「学校だけで育てる」から「地域のみんなで育てる」時代へ



かつて：子どもの学びと成長は
「学校（先生）」に任せるもの。



これから：学校の壁を取り払い、地域全体で
子どもを育む。

なぜ今、コミュニティ・スクールが必要なの？



少子化や社会の変化により、学校だけで全てを解決することは限界を迎えています。先生たちが子どもと向き合う時間を守り、多様な学びを提供するためには、地域と家庭の「支え」がどうしても必要です。

コミュニティ・スクール＝「地域とともにある学校」



コミュニティ・スクールとは、学校と地域住民がパートナーとして協働する仕組みです。
「こんな子どもに育てほしい」という目標をみんなで共有し、当事者として一緒に教育をデザインします。

子ども・保護者・地域の「三方よし」



菊川市独自の強み「学舎(がくしゃ)制」

岳洋学舎

岳洋中、小笠東小
小笠南小、小笠北小

菊西学舎

菊西中、内田小
横地小、加茂小
堀之内小

菊東学舎

菊東中、六郷小
河城小

菊川市では、中学校区ごとに園・小学校・中学校を1つの大きなグループ「学舎」としています。
学校だけではなく、地域全体で子どもたちをバックアップする体制が整っています。
学舎の特色や学校の独自性を生かした取組で子どもを支えます。

点ではなく「線」でつなぐ、0歳から15歳の成長



園・小・中がバラバラに育てるのではなく、15年間の成長を一つの「線」として捉えます。
地域全体が途切れることなく見守り続けます。

活動を前へ進める「2つの両輪」

「学校運営協議会」
(話し合い / 熟議)

「地域学校協働活動」
(実践 / ボランティア)



コミュニティ・スクールは、「話し合い」と「活動」がセットになって初めて機能します。話し合いだけでは進まない。活動だけでも方向が定まらない。2つが連動して「子どもの成長」という前に進む力を生み出します。

両輪その1:「話し合い」で目標を共有する



学校運営協議会とは、学校と地域が同じテーブルにつき、子どもの未来や地域の課題について話し合う場（熟議）です。「学校に意見を言う」のではなく、「パートナーとして一緒に考える」ことが最大の目的です。

両輪その2：「活動」で日常をサポートする



環境美化・地域探究



読み聞かせ・学習支援



登下校の見守り・交流

地域学校協働活動とは、共有した目標に向かって、地域の人たちが学校や子どもをサポートする実践です。特別な授業だけでなく、日々の学校生活に溶け込む形での支援が、子どもたちの大きな安心感につながります。

参加を楽しむための「ボランティア4原則」

① 自発性



自分からすすんで楽しむ。

② 公益性



みんなで支え合い、学び合う。

③ 無償性



お金ではない、感動や喜びを得る。

④ 創造性



自分たちの手で、よりよい社会をつくる。

ボランティアは「やらされる」ものではありません。あなた自身が新しい出会いや生きがいを発見する、大人の学びの場でもあります。

菊川市の合言葉

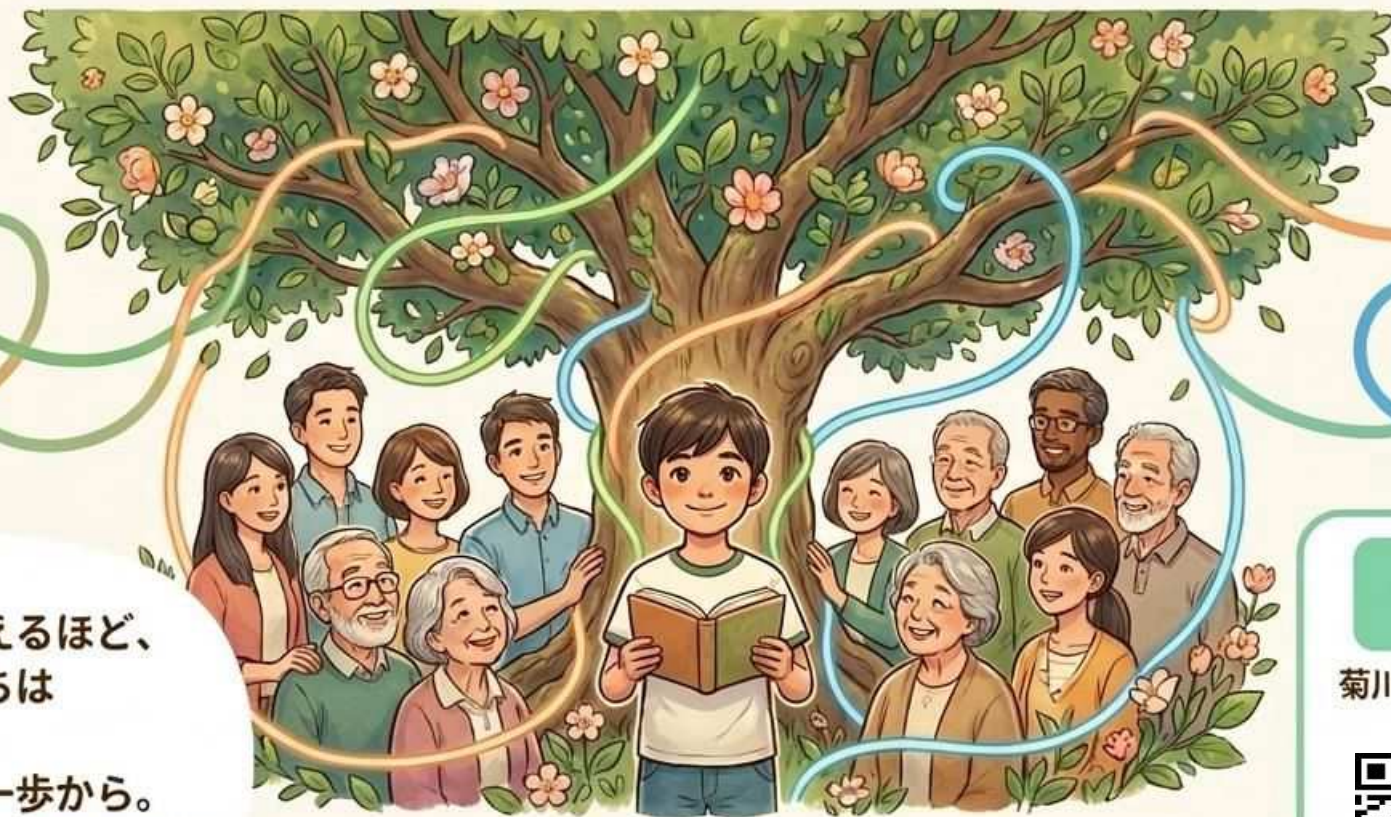


**「できる人が、できる時に、
できることを」**

特別なスキルや、毎日の参加は必要ありません。
無理のないペースで関わるのが、長く続く秘訣であり、
子どもたちの最大の応援になります。

あなたも「学びのデザイン」に参加しませんか？

関わる大人が増えるほど、
菊川の子どもたちは
豊かに育ちます。
まずは、小さな一歩から。



Learn & Grow

学びを通して成長するまち

菊川市ボランティア
登録はこちら



Tel
0537-73-1113

窓口情報：学校教育課